



安田小っ子

第3号
国頭村立
安田小学校
児童数12名
校長 仲村秀也

魚さばき体験！海人の皆さん感謝です！ 体験学習から学ぶ・・・海からの「命の恵み」



いっちょ、やったるぜ～



大物だって、さばけるぞ！



お礼のことば！学校代表として



安田小・奥小合同体験学習だ！

5月29日(月)に、漁師の皆さんのご指導による安田小学校・奥小学校合同の魚さばき体験学習を行いました。安田漁港に25名の児童と引率の先生方、保護者の皆さんのご協力の下、子ども達も張り切っていました。最初は、不安そうにしていた子ども達も、慣れるにしたがいどんどん迷い無く“海の恵み”をさばいていきました。青い海からの命の恵み「魚」を、『感謝の気持ちでさばいて、食すること』から、「自然と調和する生活の豊かさに気づいた！」かな？

～土曜授業参観～ 4・5・6年生 「脳の引き出し」



一人一人の脳の中にある「力」を引き出しに見立て「個性の違いを知ろう！」



ぼくの脳の引き出しは・・・
こんな感じかな！？凸凹か？

6月17日(土)に、土曜日参観において、1校時に校長による特設授業『脳の引き出し』を4年生・5年生・6年生を対象に実施。人の脳の中の見えない部分を「引き出しモデル」に例えることで、『一人一人の違いを実感する』ことがイメージできたようです。人間一人一人には、「個性」があり、その「個性」をお互いに認め合ったり、どのような場面でも「違い」がある。それを想定した上で、柔軟に適應できるよう、折り合いをつけられるような「自分らしい自分へと成長しよう」と各自、振り返っていました。授業参観にいらした保護者も、大きくうなづいて聴いてくれました。どの子の顔も真剣そのもので、「自分らしい努力で、自分の限らない力を磨き・伸ばす道を歩いてくれること」等を感じてくれたなら、うれしいかぎりです！

校内研修！4年・5年の複式授業！ 主体的・対話的・深い学びへの挑戦



4学年 国語：「短歌の世界」



短歌のもつ音の響きにふれて、
発表しあい楽しむ二人+先生



5学年 国語：「漢文に親しむ」



漢文の面白さを、読み味わい、
意味理解に挑戦する三名の五年生



国頭教育事務所
指導主事 玉城史江氏による
研究授業 観察の様子



授業を観察してのリフレクション
授業の展開・板書・発問・ワタリの
タイミング等 研鑽する教師集団

6月6日(火)5校時に、4年生・5年生の国語の授業を、複式授業を基本に据えた研究授業に【比嘉千夏乃教諭】がチャレンジしました。国頭教育事務所 指導主事の玉城史江氏を招聘し、研究授業を実施。

校内研修テーマ：「伝え合う力を育てる授業研究」
～少人数の特性を生かし学びが生まれる授業づくり～
4学年：「短歌の世界」の1/4 ・ 5学年：「漢文に親しむ」1/3

【指導助言】

- ◎単元の導入(第1時)は重要です。単元全体の見通しを持つ。モデル化(見本)を示す。今日の発問では、「思い描いた情景を、相手に伝えるには、どのように音読すればいいのかな」に対して、→「自分は、こう思いました。だから、このように読みました」と、『説明する力』を求めていく・・・。
- ◎複式授業において、「わたり」のタイミングをどうおさえるか？→授業の山場はどこなのか？(先生を必要とする場面)
- ◎読む領域→他の領域(書く・話す・聞く)と合わせながら指導する。
- ◎情景とは、景色や風景だけではない。情け(心情、思い)をどのように『読み』に乗せていくか・・・肝心である。

多くの助言を頂き、チーム安田の教師集団は、研鑽を深めて行きます。

